



「しばた」  
 を知って楽しみ、  
 「新しいしばた」  
 の町をつくる新聞

平成29年4月25日号  
 発行所／(有)アミックス  
 〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟  
 tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて  
 自然由来です

高橋農園  
 (新発田市緑山1314)  
 TEL 0254-29-2287  
 http://takahashinouen.com/

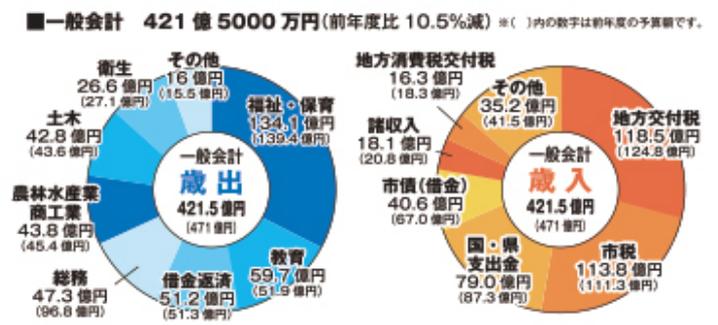
# 今年も超積極予算 422億1千万円

新発田市の29年度予算が決まった。予算総額はより一億二千万円で、28年度の471億1千万円と比較すると49億5千万円、10.5%の減である。これは新庁舎建設などの大型工事が増えたことと、46億2千万円の人件費増が物価高騰で10億6千万円が圧縮されたからである。圧縮分を引くと415億4千万円となり、市民サービスの経費は8億3千万円増やしている。

市民サービスの主なものは「産業振興」＝雇用増大、「少子化対策」＝子育て支援、「教育の充実」＝学力の向上、「3本柱」にかかわる施策に重点が配分された。

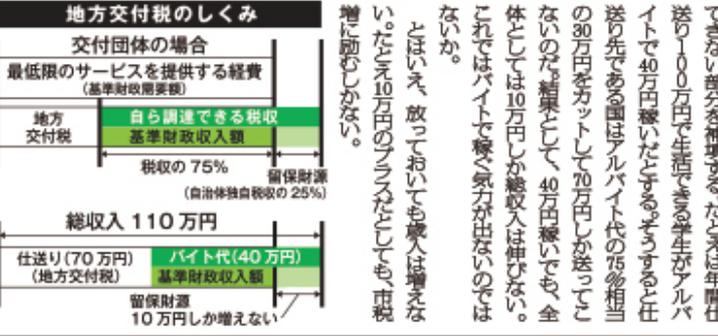
主な事業として、産業振興部では、商工の創業支援事業、企業コンシェルジュモデル事業、農水の農業法人化支援事業、新発田野菜・果樹拡大支援事業、観光のDMO活動トランクルーム、少子化対策部では、こども課の待機児童解消事業、子ども発達相談事業、スポーツ推進のスポーツ子育て・定住促進の遊学事業など、教育部門では、小中学校学方向上推進事業（小中学校でのOCR学力検査の継続）、土曜学習支援事業、歴史図書整備事業などが目立つ。

これは、両市町が新庁舎・旧新発田病院跡地・新発田駅前整備・下水道等校入施設および駅前複合施設整備などのハード建設事業がほぼ終了したことから、新発田のハード面をソフト事業からソフト事業に転換して、よりソフト面での「市民サービスの向上」の取組が中心となる。ソフト面では、市民サービスの向上を図る。ソフト面では、市民サービスの向上を図る。ソフト面では、市民サービスの向上を図る。



困難なソフト事業、DMOトリアル。成功のために官民挙げて後押しを。ソフト事業の中で注目すべきは、DMO活動トリアルである。いわゆる「産官学連携」の地産地消を推進する。DMO活動は、地元企業と連携して、地元産品の販売を促進する。DMO活動は、地元企業と連携して、地元産品の販売を促進する。

機能的なソフト事業、DMOトリアル。成功のために官民挙げて後押しを。ソフト事業の中で注目すべきは、DMO活動である。いわゆる「産官学連携」の地産地消を推進する。DMO活動は、地元企業と連携して、地元産品の販売を促進する。DMO活動は、地元企業と連携して、地元産品の販売を促進する。



普通型交付税は政府が考える最低限の行政サービスにかかる経費(基準財政需要額)のうち、交付税の75%を標準財政収入額で賄えない部分(不足)を補填する。たゞ、年間仕送りの100万円は生活できる学生がアルバイトで40万円稼いだとすると、そのうちの30万円をカットして70万円しか送ってこない。結果として、40万円稼いでも、全体としては10万円しか総収入は伸びない。これではバイトで稼ぐ気力が出ないのではなか。

とはいえ、故郷においても成人は増えない。たとえ10万円のプラスにしても、市税増に動かしがたい。

成人式に出席した。春の光に包まれた新成人はまぶしく見えた。アトラクションで「おどるポンポコリン」を披露したしばたパフォーミングキッズの子どもたちの笑顔はさらに輝いていた。誰でも、生まれた時から五つの年齢までの、あの可愛らしさで、たっぷり一生分の親孝行はすでにしているのさ」とは小説「暇」の中の懐かしい面々(安部 謙二)の言葉である。大人になってから、とんでもない不行跡で可愛い子どもがなくなったことを忘れさせてしまっている。松戸市で9歳のリンちゃん(仮名)が殺され、捨てられた事件。不行跡どころか、あまりに残忍な犯行で「言葉」を失った。そのうえ、逮捕された渋谷恭正容疑者は子どもたちを守るべき保護者会の会長で、自分にも子どもがいる。2000年以降、子どもとの連絡が断絶した殺人事件は7件ほどある(4月15日付「読売新聞朝刊」)。すべて下校時のものだ。登校時は集団登校する場合が多く、事件の被害に遭うことはなかった。今回は登校時。見守るべき保護者や、しっすうすればいいのか?都会での保育園建設問題。子どもたちの声がある。さいからと反対運動が起き、建設できない事実が相次いだ。子どもたちの歌声は元気と笑顔を運んでくれる。私は理解に苦しんだが、今回の連絡が断絶した。保育園をたどるところか、大きな悲しみと混乱をもたらした。保育園の子どもの姿を見ながら、今、どうすればいいか考えている。

## コラム

春の光のなかで

新発田城址の桜

# 昆田文次郎、加治川桜とともに 新発田上水道の父でもあった

先号で長編第一先生の昆田文次郎の事績に関する講演要約を掲載したところ、大きな反響があった。昆田文次郎は、加治川長堤十里の桜並木の生みの親であることを知る人は少なく、紙面の都合で割愛したその他の功績も知りたいとの要望が多かった。そこで、再度取り上げることにした。

昆田文次郎の新発田市への最大の貢献は「上水道布設」に向けての尽力である。脚ヲフスで年間30人が死し、不衛生な水を使用していた新発田町民

江戸はもとより明治・大正の頃にも新発田に上水道が、井戸が利用されていた。とて、新発田の地下水は鉄質が多くて飲用にはまったく適さず、町の家庭用井戸は数もろろ本のもので飲用できるものはわずか

「上水道布設」を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。



水壺、「清瀧」と刻まれている

昆田文次郎の墓所  
(新発田市寺町・三光寺)

治川から新発田川を経由して取水し下内川の浄水場を設置、総費は「五拾五萬七千円の修正案ができた。ただし、明治28(1895)年に公布された日本政府の「水道法例」では水道八市町村に公費を以てスルニ非ザラベテ布設スルコトヲ得ズとある。自治体にとっては莫大な負担である。

大正14(1925)年度の新発田町の歳入は17万8千800円に過ぎない。そこで、当時の町長・香川鎮雄は内務大臣若槻禮次郎宛てに水道布設の認可申請と借債借金の申請を同時に行なったのである。起債総額は48万2千円で、48%を一般計からの繰り入れ、27%を国庫補助金、25%を水道使用料で償還するといったものだ。つまり、一般計の半分を水道布設に充てなければならぬ。国庫の補助金なしでは成立しない計画である。関東大震災復興で膨大な経費を必要としている政府がいそいそと認めるわけはなかった。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。

「上水道」事業計画を完成した給水人口3万人、山内地区の加治川または江口地区の新発田から取水し五十公野山に浄水場を設置する計画だ。これを受けて新発田町では大正10(1921)年の『新発田町誌』のなかで「本町の衛生状態は凶穢にして全然良好とは認め難し。中略」本町将来に於ける最大急の問題として、水道布設の早期実現に向けての決意を述べている。その後、水道調査委員会を設立させ、総工費五拾五萬七千円の成案を得たが、これも直前にの大正12(1923)年8月発災の関東大震災により中止された。



水壺、「清瀧」と刻まれている

昆田文次郎の墓所  
(新発田市寺町・三光寺)

新発田初の上水道は昭和3(1928)年5月10日に通水した。しかし、昆田は通水を認めずとす。昭和2(1927)年1月21日、没した。通水後には寺町の三光寺にある昆田の墓前に掲げられた大きな水壺に、絶えず「上水道の水が注がれた。」

戒名は「西國(こうけい)院授戒僧文彦居士。諱(は)田中重中の一郎。二節の衣の下に薄い衣を穿綴った様子で、錦の美しさを外に現れさせない意である。」

自らが目立ってとて、人々と故郷を支えるために働いた昆田にやさしい一冊である。

経費を捻出するためが実現に悩んでおりましたが、勝隊存続運動の開始により其の実現を促進するの機会を醸成するに至ったのであります。上水道施設の完成によって衛成地の衛生化を図ることは当局に対して陳情の一要件であったのであります。此間の事情を知悉せられた昆田先生は、上水道施設計画を完成して、これが認可可能なものに要する財源の使途に充つるため借債の認可を其の筋に申請するに当たり、又は工費四分の一の国庫補助金の交付を受けるに就いて補足力せられた事は申すに及ばず、大倉男爵家の援助を得るに付き、人知れぬ苦心を払われた事は何に筆や舌を以て云い尽くす事は出来ないのであります。」(昆田文次郎君の生涯)。

具体的には、官庁への陳情には香川出身の田舎議員で高橋清治郎の内閣書記官長(現在の官房長官)を務めた高橋光威の協力を得ている。即ちの大倉重八郎は明治27(1904)年に水道布設の多目新発田町にすてに5万円寄付している。ところが計画が頓挫しても寄付金は返還されなかった。このことを快く思わなかったのか大倉は当初協力的ではなかった。これを大倉の腹心の門下重九郎を勧得することで、昆田と高橋が大倉に直談判し、重九郎の寄付の協力を得ることに成功した。

<p>蟻塚税務会計事務所 新発田市大塚町 7-1-6 TEL.0254-23-2222</p> <p>飯豊電設工業(株) 新発田市東町 2-18-5 TEL.0254-24-2134</p> <p>(株)伊藤組 新発田市島田 1273-1 TEL.0254-22-4178</p> <p>(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056</p> <p>(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550</p> <p>SODデザイン 高橋新道 新発田駅前1-13ストライプビル2階 TEL.0254-24-5121</p> <p>小野寺税務会計事務所 新発田市大塚町 2-7-7 TEL.0254-22-3497</p> <p>(株)下越道路 新発田市新栄町 1-1-5 TEL.0254-23-2296</p> <p>(株)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311</p> <p>機こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381</p> <p>小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705</p> <p>小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010</p>	<p>茨木建設(株) 新発田市島田 284-1 TEL.0254-23-6861</p> <p>新発田ニュープラザホテル 新発田市環状町 1-9-29 TEL.0254-26-3131</p> <p>新発田建設(株) 新発田市東町 1942 TEL.0254-27-5711</p> <p>島津印刷(株) 新発田市東町 1419 TEL.0254-27-2101</p> <p>(株)新和組 新発田市栄 1267 TEL.0254-26-5011</p> <p>大進電業(株) 新発田市栄々木 1895-9 TEL.0254-21-5000</p> <p>(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1181</p> <p>新潟ファームサービス(株) 新発田市五十公野 4104-1 TEL.0254-20-3828</p> <p>フジマ舗道(株) 新発田市島田 4187-3 TEL.0254-26-5030</p> <p>扶桑畜産(有) 新発田市水産学園 4665-1 TEL.0254-26-5136</p> <p>山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700</p> <p>(株)安田組 新発田市通町 4-3-39 TEL.0254-24-1761</p>	<p>介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市島田 1746-1 TEL.0254-20-3600</p> <p>複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田駅前1-10-38 TEL.0254-24-1111</p> <p>(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3989 TEL.0254-22-2223</p> <p>(株)ワゴードライ 新発田市栄々木 3445 TEL.0254-27-2261</p> <p>割烹旅館 多奈可や 新発田市稲荷岡 2066 TEL.0254-41-2013</p> <p>新発田城剣道野試合 5/3 13:00~15:00 (水・祝) ※日本剣道の形披露もあります。※一般の方も参加できます。</p> <p>白根の単揚げ(雨天中止) 5/3 15:00~16:00頃 ※一般の方も参加できます。</p> <p>問合せ 堀部安兵衛武庸生誕地まつり実行委員会 ☎0254-26-6789(観光協会内)</p>
--	---	---

# 新発田へのふるさと納税 4億4千800万円超え

新発田市へのふるさと納税（以下ふるさと納税）は、この8月末まで4億4千800万円を超え、過去最高の記録となった。27年度は2億5千800万円、28年度は2億7千500万円だったと推定されている。

半額返しの費用が活用され、事務経費や賞状を印刷する費用も削減された。

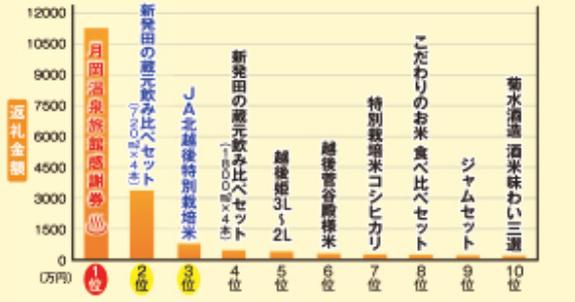
好評の理由として「抽選品はどれも新発田ならではの返礼品が多かった」と「中から返礼品を選んだ」という声が多い。また「ふるさと納税の仕組みがわかりやすい」という声も多かった。

今年からふるさと納税の最大手「ふるさとチョイス」が、ふるさと納税の申し込みを促進する「ふるさと納税のふるさと納税」を始めた。これは、ふるさと納税の申し込みを促進する「ふるさと納税のふるさと納税」を始めた。これは、ふるさと納税の申し込みを促進する「ふるさと納税のふるさと納税」を始めた。

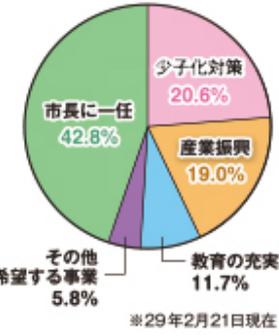


8位の「ジャムセット」は果実感を残して好評。第2位に選り出された「新発田の蔵元数比べセット（720ml×4本）」はセットに「ふなぐち菊水」が入って人気

## 新発田からの返礼品別 ベスト10 (平成29年3月31日/返礼金額別)



## 新発田からの返礼品別 ベスト10 (平成29年3月31日/申込個数別)



**使途別申込金額(構成比)**

ふるさと納税は、市民の要望に応じた事業を実施するための重要な手段です。今年度は、市民の要望に応じた事業を実施するための重要な手段です。今年度は、市民の要望に応じた事業を実施するための重要な手段です。

目立つのは金額8位の「ジャムセット」。生産者自身が加工した、こだわりの味を凝らしたレクチェと日本いちじくが好評だ。このほか数量限定のため、上位には「果糖・黒糖の佐饗糖」や「シヤン・マスケット」が好評だ。

ふるさと納税は、自治体にとって重要な収入源の一つである。今年度は、市民の要望に応じた事業を実施するための重要な手段です。今年度は、市民の要望に応じた事業を実施するための重要な手段です。

コンフィ陽だまり苑 10周年スペシャル企画

愛を歌う  
スペシャルコンサート

# 文太郎

コンフィ陽だまり苑はお陰様で今年10周年を迎えます。地域の皆様、お客様に日頃の感謝の気持ちを込めて、シャンソン歌手「文太郎」のコンサートを開催します。

**5/13(土) 開演 13:30**

会場 新発田市生涯学習センター

出演 文太郎

入場無料 先着 300名様

シャンソンを中心にあらゆるジャンルを歌いあげ、心を癒やします。新潟市出身の注目歌手です。

入場は無料ですが、「フードバンクしばた」の募金箱を設置しますので、どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

※入場券が必要です。ご希望の方は「コンフィ陽だまり苑」までお電話下さい。

社会福祉法人いじみの福祉会  
コンフィ陽だまり苑 Tel.0254-24-1111

とんとんの  
タケノコ・山菜特集

4月28日(金)～30日(日)

タラの芽やこごみなど、春の息吹を感じる新鮮な山菜がたっぷり

**いじみの市場**

●新発田店 9:00～18:00  
●新潟市東区 14:00～22:00  
●0254-20-2229  
●松崎店 9:00～18:00  
●新潟市東区新松崎1-6-14  
●025-274-2229  
●白根店 9:00～19:00  
●新潟市南区飯巻406-2  
●025-372-2222

# 新発田城址で大風揚げ 安兵衛生誕地まつり

堀部安兵衛武將(たけべのりく)は、新発田城址の跡地に生誕された。もはや中山安兵衛武將(たけべのりく)と混同された。16歳で江戸に出て、堀内道雄と直心影流の免許皆伝となり、高田の馬場で義理の叔父となった高野六郎左衛門の助太刀をして敵方3人を倒した。その評判を聞いた赤穂藩士の堀部赤松衛門に誘われて、堀部より改名、赤穂藩に仕えた。その後、赤穂藩主の淺野長矩の敵である吉良義史を討ち取り、赤穂四十七士として名を挙げ、江戸庶民から絶大な人気を得たのである。元禄15(1702)年12月14日のことだ。

ところが、江戸時代は武家社会での事件は伝文などで誇張されていたため、歌舞伎や浮世絵では名は織部赤松衛門と、出身地も新発田であることが法律下であったが否定されてきた。

その結果、安兵衛の出身地が新発田であることは意外、知られていなかった。そこで平成24(2012)年から安兵衛の生誕地が新発田であることを、まず地元の人に知ってもらいたいとして「堀部安兵衛武將生誕地まつり」が毎年5月11日、12日開かれる。

安兵衛まつりとして、志あるの町民入りラッシュで観客約10万人を引いて、春夏の「助太刀最中」や「道中」が行われる。イベントは、5月10日(水)・11日(木)・12日(金)の3日間、新発田城址公園で、少年少女剣道大会やバレーボールの後、誰でも参加できる「剣道体験試合」が開催される。続いて午後6時から、最大級の風揚げがある。それ以外にも参加できる。白根は元は新発田藩領であり、風揚げは跡の新発田藩主

が描いたこの故事による。  
5月7日(日)午前10時から、新発田体育センターで、「スポーツチャンバラ大会」が開かれる。おもむき体操コーナーがある。  
5月21日(土)午後5時半から、清水園で、食事付きの杉山善光氏の講演会。よもぎ夜話が開かれる。会場8千円で、申し込みは市観光協会(TEL:090-3047-8732)。

## 新発田の始祖・佐々木盛綱「藤戸合戦」の史劇上演決定

新発田藩成立以前の「新発田・北蒲原は鎌倉時代の武將・佐々木盛綱の子孫が統治していた。いわゆる佐々木氏・加地氏・新発田氏(その傍流の五十公野氏)・竹俣氏(その傍流の楠川氏)などである。その統治は西暦1200年頃から1600年少し前までの約400年間に及ぶ。新発田市には遺構として地形山脈南端・要書山の加地城址や藤戸神社が遺されている。

佐々木盛綱は徳川朝の最前線で徳川合戦の「藤戸の戦い」で奇跡的な勝利を収め、その後の歴史や油の戦いで徳川に油揚げの勝利をもたらす。鎌倉幕府成立の立役者となった。その後、鳥坂山で反乱した「城裏盛」とその叔母の言のまを、板御前を鎮圧し、新発田・北蒲原を与えられた。佐々木盛綱の子孫による統治は、戦国時代、上杉景勝の家臣・直江兼続に新発田軍勢が敗れるまで続いた。



新発田城址公園での風揚げ



藤戸合戦(藤戸合戦)

このたび、佐々木盛綱の戦いのクライマックス「藤戸の油ものがたり」を演じる倉敷市の劇団・絆(倉敷市歴史博物館保存振興会)が、板御前との戦いを描いた「板御前物語」を演じる。藤戸の板御前を招き、5月12日(土)午後1時半から、工業小学校体育館での上演が決まった。内容は分かるまで。

齋藤代表が、「映画、坂口安吾、新潟について語ります」

シネ・ウインド代表  
齋藤 正行 講演会

# シネ・ウインド

## 30年の歩み

5/19 金  
START ▶ 19:00  
イクネスしばた  
2階 多目的室 4・5  
(新発田市奥町1-2-12)

要申込 | 定員 30名 |  
参加費無料 |

懇親会(講演会終了後)  
要申込 | 定員 20名 |  
参加費 4,000円 |

お問い合わせ  
しばたシネマファン倶楽部(竹内和宏)  
080-6537-3076

# フードバンク しばた

家庭で余っている食品や生活用品をご寄付下さい！  
お持ちより下さい！

食事に困っている人に食品を届ける「フードバンク」事業と、子どもたちに無料で食事を提供する「こども食堂」事業を皆様のご協力で行っています。

食品 ● 野菜・冷凍食品・缶詰・レトルト食品・乾麺・お茶類・インスタント食品・調味料・飲料などで賞味期間が1ヶ月以上あるもの  
生活用品 ● 洗剤・ティッシュペーパーなど生活に必要な物品

フードドライブ

こども食堂会場

10:00-14:00!!  
毎週土曜 長徳寺 大栄町2丁目7-22

10:00-14:00!!  
毎週日曜 多田様宅 緑町2丁目本丸中学校前

問合せ/土曜 tel.090-3047-8732